

9. 里山のきこいになろう！

○ねらい：現在では利用されなくなった里山。この里山を明るく、気持ちよく、また多くの生きものたちが集まる森になるよう、あなたも里山のきこいになって木を伐ってみましょう。

●対象地：柏木公園・弥富公園南側樹林地ほか

除伐を体験してみよう

手入れされていない里山林の除伐をすると、林の中に日が差し、明るく風通しがよくなるばかりでなく、林床の草花や実生苗が芽吹いたり、切株からの萌芽更新がおきたりして樹林地が若返り、多様な生きものたちが集まる森へと変わっていきます。

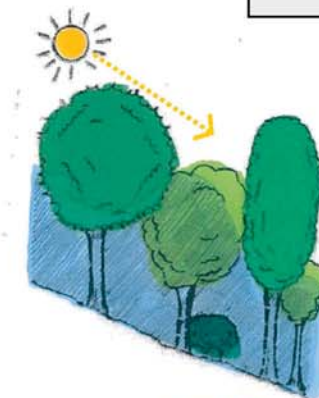
除伐作業で伐り出される木は、森の中で散策路や、土留め柵、ビートルベットなどの材料として使います。また、木工クラフトの材料などに有効活用できればなおいいですね。

森づくりの用語解説

- 除伐とは：樹林地の中を明るくするために、生長の悪い木、他の木の生長を妨げている木などを選んで伐ることをいいます。
- 林床とは：樹林地の中の地面のことをいいます。
- 実生更新とは：親の木や草花から種が落ち、その種が根を張り、芽を出すことをいいます。またこの苗を実生苗といいます。
- 萌芽更新とは：木を伐ったあとの切株から新しい芽が出てくることをいいます。

注意事項：公園内での木の伐採は、原則として禁止されています。

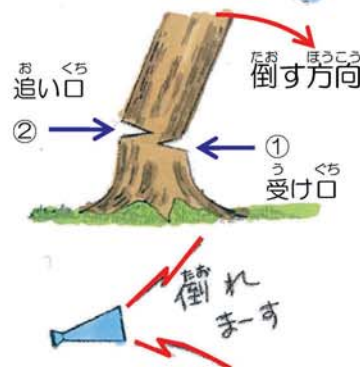
除伐作業の手順



1. まず、伐る木を選びます。

日影になって生長の悪い木。林床の植物への光をさえぎっている木。大きくなりすぎて、若返りをしたい木、などを選びます。

必ず、専門家の意見を聞いて、伐る木、残す木を決めましょう。

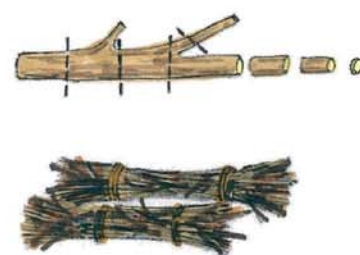


2. 伐る木が決まったら、

まず、倒す方向にノコギリでV字型の切れこみ（受け口）をいれます。つぎに、反対側の少し上から切り込んでいきます（追い口）。

木が倒れる前に、周囲に人がいないように、大きな声で危険を知らせましょう。

作業の前に、木の伐り方、道具の使い方について、専門家に教わりましょう。



3. 伐り倒した木は、

幹や枝は、目的に応じて使いやすい長さに切ります。

細い枝や葉は、こまかく切って、決められた場所に集めます。また、束ねてしばって土留めなどに使います。